

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	商学概論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0014			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	片岡寛ほか編（2017）『ビジネス基礎 新訂版』実教出版.						
担当教員	松原 義弘						
到達目標							
現代社会における経済活動と流通のあり方について、体系的な理解を深める。 身近なモノやサービス、流通について分析し、これに関する自分の見解を述べられるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	経済活動と流通のあり方について、幅広く説明できる。			経済活動と流通のあり方について、その一部を説明できる。		経済活動と流通のあり方について、説明できない。	
評価項目2	身近なモノやサービス、流通について、自分の見解を十分に述べられる。			身近なモノやサービス、流通について、不十分ながらも自分の見解を述べられる。		身近なモノやサービス、流通について、自分の見解を述べられない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	本講の目的は、現代社会における商品のあり方を体系的に理解することにある。産業や消費生活の変化に伴う商品の多様化などについて考察する。 なお、この科目は、自治体で官民連携に関する業務を担当していた教員が、その経験を活かし、経済を構成する「企業・家計・政府」の幅広い観点から、講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、視聴覚教材やグループワークを交えて実施する。また、基礎的学力を補うためスタディサプリによる宿題を課す。						
注意点	本講では、受講生の積極的な発言や意見交換を期待する。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。評価方法と評価基準は、本試験に準じる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、経済と流通の基礎（1）		「商学概論Ⅰ」の目的、経済の仕組みとビジネスについて、理解できる。		
		2週	経済と流通の基礎（2）		経済活動の基本的な考え方について、理解できる。		
		3週	経済と流通の基礎（3）		社会の変化とビジネスの発展について、理解できる。		
		4週	経済と流通の基礎（4）		流通の意味と役割について、理解できる。		
		5週	経済と流通の基礎（5）		流通を取り巻く環境の変化について、理解できる。		
		6週	ビジネスの担い手（1）		モノの生産者、サービスの生産者について、理解できる。		
		7週	ビジネス事例研究（1）		経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。		
		8週	中間試験		第1～7回の学習内容		
	2ndQ	9週	グループワーク（1）		ある特定の研究テーマ（流通）について、情報収集・調査できる。		
		10週	ビジネスの担い手（2）		小売業の役割と種類について、理解できる。		
		11週	ビジネスの担い手（3）		卸売業の役割と種類について、理解できる。		
		12週	ビジネスの担い手（4）		物流業の役割と種類について、理解できる。		
		13週	グループワーク（2）		ある特定の研究テーマ（流通）について、資料作成・発表できる。		
		14週	ビジネス事例研究（2）		経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。		
		15週	期末試験		第9～14回の学習内容		
		16週	成績確認		答案返却、解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	レポート	宿題				合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100
基礎的能力	50	10	10	0	0	0	70
専門的能力	20	10	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0